

--	--	--	--	--

家計に関するアンケート

平成16年10月

ご記入にあたってのご説明とお願い

- ・ この調査は、世帯の家計と貯蓄の動向を調べることを目的に、日本全国で無作為に選んだ世帯を対象に行っております。
- ・ 世帯主の方（家計費に充てる収入が最も多い方）または実際に家計をきりもりする方（配偶者の方など）がご回答ください。
- ・ 家計の調査が目的ですので、事業のための預貯金、負債などは除外してご回答ください。
- ・ 質問項目が多く、記入時間も長くなりますが、全部の質問項目にお答え頂きますようご協力をお願い致します。
- ・ 調査結果は数値化し、コンピューターで集計を行いますので、世帯や個人のプライバシーが他に漏れることはありません。例えば、税金などの関係に使用されることは絶対にありませんので、ありのままご記入ください。
- ・ ご不明の点がありましたら、お伺いした調査員、または下記までご連絡頂きますようお願い致します。



郵政総合研究所

〒100-8798 東京都千代田区霞が関1-3-2



< 調査委託先 - 本調査に関する問い合わせ先 >

(株)日本リサーチセンター(調査部)

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-12-8 八丁堀SFビル

フリーダイヤル 0120-911-552

10時～17時(土日祝日を除く)

「たいせつにしますプライバシー」は、個人情報について十分な保護策を講じている企業・団体に対して経済産業省所管の(財)日本情報処理開発協会より付与されている**プライバシーマーク**です。

担当調査員名						
調査票回収日	月	日				

まず、貯蓄の目的についておたずねします。

問1 あなたの世帯では、現在表に示したそれぞれの目的ごとの貯蓄がありますか。また、今後はそれぞれの目的ごとの貯蓄を増やしますか、減らしますか。
 (現在、各目的の貯蓄がある場合には「有」に を、無い場合には「無」に をつけてください。また、今後の意向では、「有・無」にかかわらず、1～3のいずれか1つに をつけてください。)

なお、本調査でいう「世帯」とは、住居及び生計を共にしている者の集まりをいいます。単身赴任など3か月以上別居している方は世帯員から除きます。

	貯蓄の目的	有・無	今後の意向
a	病気、災害、その他不時の出費に備えて	有・無	1 増やしたい 2 減らしたい 3 今のままでよい
b	子供の教育費として	有・無	1 増やしたい 2 減らしたい 3 今のままでよい
c	結婚資金(子供の結婚資金を含む)として	有・無	1 増やしたい 2 減らしたい 3 今のままでよい
d	マイホームまたは土地の取得、増改築などに備えて	有・無	1 増やしたい 2 減らしたい 3 今のままでよい
e	老後の生活に備えて	有・無	1 増やしたい 2 減らしたい 3 今のままでよい
f	要介護状態(寝たきりなど)になったときの出費に備えて	有・無	1 増やしたい 2 減らしたい 3 今のままでよい
g	耐久消費財(自動車、家具、家電など)の購入に向けて	有・無	1 増やしたい 2 減らしたい 3 今のままでよい
h	旅行やスポーツなどのレジャーに向けて	有・無	1 増やしたい 2 減らしたい 3 今のままでよい
i	遺産として残すため	有・無	1 増やしたい 2 減らしたい 3 今のままでよい
j	特に目的はないが貯蓄をしていれば安心だから	有・無	1 増やしたい 2 減らしたい 3 今のままでよい
k	その他	有・無	1 増やしたい 2 減らしたい 3 今のままでよい

問1でひとつでも「有」に をつけた世帯におたずねします。

問2 問1で「有」としたもののの中から、あなたの世帯で特に重要とお考えの貯蓄目的の上位3つを選んでお答えください。(は3つまで)

- | | |
|--|--|
| 1 病気、災害、その他不時の出費に備えて
2 子供の教育費として
3 結婚資金(子供の結婚資金を含む)として
4 マイホームまたは土地の取得、増改築などに備えて
5 老後の生活に備えて | 6 要介護状態(寝たきりなど)になったときの出費に備えて
7 耐久消費財(自動車、家具、家電など)の購入に向けて
8 旅行やスポーツなどのレジャーに向けて
9 遺産として残すため
10 特に目的はないが貯蓄をしていれば安心だから
11 その他 |
|--|--|

問6 平成17年4月から普通預金のペイオフ解禁が実施される予定ですが、あなたの世帯ではどのようなことを行いたいと思いますか。(はいくつでも)

1 別の金融機関にすべて預け替える	問7へ
2 1金融機関につき1人当たり1千万円を超えないよう、預金の預入先を分散する	
3 国債、投資信託、保険・年金など他の金融資産に分散する	次頁の 問8へ
4 1人当たり1千万円を超える預金については、無利息ではあるが、 全額保護される決済用預金に預け替える	
5 預金を解約して現金で保管するようになる	
6 預金総額が1人当たり1千万円未満なので特に何もしない	
7 預金総額が1人当たり1千万円以上あるが特に何もしない	
8 既に対応済みなので、特に何もしない	
9 その他(具体例: _____)	

問6で、「1 別の金融機関にすべて預け替える」、「2 1金融機関につき1人当たり1千万円を超えないよう、預金の預入先を分散する」と答えた世帯におたずねします。

問7 あなたの世帯ではどちらの金融機関に預金を預け替えようと、または分散しようとお考えですか。(はいくつでも)

1 都市銀行(注1)	8 生命保険会社(貯蓄性のもの)
2 地方銀行・第二地方銀行	9 損害保険会社(積立型のみ)
3 長期信用銀行・信託銀行(注2)	10 外資系銀行
4 信用金庫・信用組合・労働金庫	11 外資系証券会社
5 農協・漁協(農林中央金庫を含む)	12 外資系保険会社(解約払戻金があるもの)
6 郵便局	13 インターネット専門銀行(注3)
7 証券会社	14 コンビニ銀行(注4)
	15 その他(具体的に)(注5) ()

注1 「都市銀行」とは、みずほ銀行、みずほコーポレート銀行、三井住友銀行、東京三菱銀行、UFJ銀行、りそな銀行の6行を指します。

注2 「長期信用銀行」とは「あおぞら銀行」を指します。

注3 「インターネット専門銀行」とは、ジャパネット銀行、ソニー銀行、イーバンク銀行を指します。

注4 「コンビニ銀行」とはアイワイバンク銀行を指します。コンビニ内に設置された一般の銀行のATMは含みません。

注5 「その他」の例としては、新生銀行、日本振興銀行等があります。

次頁の問8へ

ここでは、投資信託について、すべての世帯におたずねします。

問 8 あなたの世帯では投資信託をご存じですか。また、購入したことがありますか。(は1つ)

投資信託とは

広く投資家から資金を集め、その資金を投資家に代わって各種・国内外の株式や債券などの有価証券に投資して、実績に応じてその運用益を投資家に還元する仕組みの金融商品です。株式投資信託、公社債投資信託、MMF、中期国債ファンドなどがあります。

1 購入したことがある	2 知っているが購入したことがない	3 知らない
-------------	-------------------	--------

問 12 へ

問 9 この投資信託では、元本割れの可能性(リスク)がありますが、このような特色について、あなたの世帯ではご存じですか。(は1つ)

1 知っている	2 知らない
---------	--------

問 12 へ

問 10 あなたの世帯では、この投資信託を取り扱っている機関についてご存じですか。(は1つ)

1 知っている	2 知らない
---------	--------

問 12 へ

問 11 投資信託を取り扱っている金融機関として、あなたがご存じの取り扱い機関は次のどれですか。(はいくつでも)

1 都市銀行	6 証券会社(外資系証券会社含む)
2 地方銀行、第二地方銀行	7 生命保険会社、損害保険会社 (外資系保険会社も含む)
3 長期信用銀行、信託銀行	8 投資信託会社
4 信用金庫、信用組合、労働金庫	9 その他(具体的に)
5 農協	()

問 12 あなたの世帯では、今後投資信託を購入したいと思いませんか。(は1つ)

1 購入したい	2 購入したくない	3 分からない
---------	-----------	---------

問 13 へ

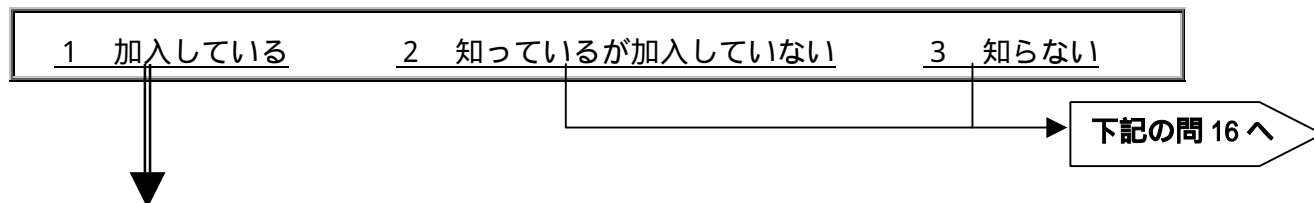
ここでは、確定拠出年金について、すべての世帯におたずねします。

問 13 平成 13 年 10 月から、確定拠出年金制度（いわゆる「日本版 401k」）が始まりました。あなたの世帯ではこの確定拠出年金をご存じですか。また、加入されていますか。（は 1 つ）

確定拠出年金制度とは

自分の年金資産が明確で、自己責任で運用商品を選び運用していく年金制度です。

確定拠出年金には、企業が従業員のために掛け金を拠出する「企業型」と、自営業者等の個人が掛け金を払う「個人型」の 2 種類があり、平成 13 年 10 月から「企業型」が、平成 14 年 1 月から「個人型」が、それぞれスタートしました。



問 14 どちらの取り扱い機関に加入申し込みをされましたか。（は 1 つ）

1 都市銀行	6 証券会社
2 地方銀行・第二地方銀行	7 保険会社
3 信託銀行	8 確定拠出年金専業会社
4 信用金庫・信用組合・労働金庫	9 その他（具体的に）
5 郵便局	（ ）

問 15 この確定拠出年金に加入された理由をお答えください。（はいくつでも）

1 国民年金や厚生年金の受給額の補填のため
2 転職等した場合でも、自分の年金資産を転職先の個人型年金や企業型年金に移せるから
3 自分の年金資産を自ら選んで運用ができるから
4 税制上の優遇措置があるから
5 勤務先がこの確定拠出年金の制度を導入しているから（企業型に限る）
6 その他（具体的に）
（ ）

問 16 この確定拠出年金制度では、現在支払う掛け金の金額は確定していますが、将来受け取る年金の金額は運用次第で変化するという特色があります。このような特色について、あなたの世帯ではご存じですか。（は 1 つ）

1 知っている	2 知らない
---------	--------

問 17 あなたは、この確定拠出年金の加入対象者や取り扱い機関についてご存じですか。

(はそれぞれ1つ)

(加入対象者)	(取り扱い機関)	
1 加入対象者について知っている	1 商品を扱っている機関を知っている	問 下 18 記 への
2 加入対象者について知らない	2 商品をどこで扱っているか知らない	

問 19 へ

問 17 で、「(取り扱い機関) 1 商品を扱っている機関を知っている」と答えた世帯におたずねします。

問 18 あなたは郵便局で確定拠出年金(個人型)が取り扱われていることをご存じですか。

(は1つ)

1 知っている	2 知らない
---------	--------

問 19 あなたの世帯では、運用次第で受け取る年金額が変化する確定拠出年金について、加入することが可能であれば、今後加入する意向はありますか。(は1つ)

1 加入の意向はある	2 加入の意向はない	3 分からない
------------	------------	---------

ここでは、金融資産の保有状況について、すべての世帯におたずねします。

問 20 あなたの世帯では、どのような種類の預貯金・金融商品（外貨建金融商品を含む）によって貯蓄をか。今後は、それらを増やしたいですか、減らしたいですか。預貯金・金融商品の種類ごとにお答え記入ください。お持ちでない場合は「無」に をつけてください。また、最近1年間の増減、今後の

	預貯金・金融商品	説明及び記入上のご注意		保有
a1	預貯金<普通預金> (郵便局を除く)	銀行、信用金庫・信用組合、農協などへの預貯金の額を「普通預金」、「定期性預金・定期積立」に分けてそれぞれお答えください。郵便局の商品は除きます。	<input type="checkbox"/>	有
			<input type="checkbox"/>	無
a2	預貯金 <定期性預金・定期積立> (郵便局を除く)		<input type="checkbox"/>	有
			<input type="checkbox"/>	無
b1	郵便貯金<通常貯金>	郵便局への貯金の額を「通常貯金」、「定期貯金・定額貯金」に分けてそれぞれお答えください。	<input type="checkbox"/>	有
			<input type="checkbox"/>	無
b2	郵便貯金 <定期貯金・定額貯金>		<input type="checkbox"/>	有
			<input type="checkbox"/>	無
c	生命保険 (貯蓄性のもの)	生命保険会社、郵便局、農協などの生命保険に払い込んだ保険料の総額をお答えください。 <u>定期性保険・医療保険などの掛け捨て型の保険は除きます。</u>	<input type="checkbox"/>	有
			<input type="checkbox"/>	無
d	個人年金 (公的年金を除く)	生命保険会社、郵便局、農協などの年金商品に、払い込んだ掛け金の総額をお答えください。 <u>公的年金保険の保険料は含みません。</u>	<input type="checkbox"/>	有
			<input type="checkbox"/>	無
e	債券	国債、金融債(ワイドを含む)、社債などの債券の保有額をお答えください。	<input type="checkbox"/>	有
			<input type="checkbox"/>	無
f	株式	株式の保有額を時価でお答えください。時価が不明の場合は取得時の価額で結構です。 <u>従業員持株制度による株式を含みます。</u>	<input type="checkbox"/>	有
			<input type="checkbox"/>	無
g	投資信託	株式投信、公社債投信、MMF、MRF、中国ファンド等の投資信託商品の保有額を時価でお答えください。時価が不明の場合は取得額で結構です。	<input type="checkbox"/>	有
			<input type="checkbox"/>	無
h	財形貯蓄・社内預金	財形貯蓄、社内預金などの貯蓄額をお答えください。	<input type="checkbox"/>	有
			<input type="checkbox"/>	無
i	その他	貸付信託、積立型損害保険、金貯蓄口座など上記 a~j 以外の金融商品について合算してお答えください。	<input type="checkbox"/>	有
			<input type="checkbox"/>	無
	合計	<u>a~iまでの合計金額を記入ください。</u>	<input type="checkbox"/>	有
			<input type="checkbox"/>	無

a~iの預貯金・金融商品について、「有」に をつけた方で外貨建金融商品をお持ちの方は、その保有額をお答えください。

行っていますか。また、それぞれの預貯金・金融商品は、1年前と比べて増加しましたか、減少しましたか
 ください。(各預貯金・金融商品をお持ちの場合は「有」に をつけ、おおよその保有額を に数字でご
 意向については1～3の該当する番号に をつけてください。)

保有している現在高		最近1年間の増減		今後の意向	
→	億 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	→	1 増えた 2 減った 3 変わらない	→	1 増やしたい 2 減らしたい 3 今のままでよい
→	億 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	→	1 増えた 2 減った 3 変わらない	→	1 増やしたい 2 減らしたい 3 今のままでよい
→	億 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	→	1 増えた 2 減った 3 変わらない	→	1 増やしたい 2 減らしたい 3 今のままでよい
→	億 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	→	1 増えた 2 減った 3 変わらない	→	1 増やしたい 2 減らしたい 3 今のままでよい
→	億 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	→	1 増えた 2 減った 3 変わらない	→	1 増やしたい 2 減らしたい 3 今のままでよい
→	億 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	→	1 増えた 2 減った 3 変わらない	→	1 増やしたい 2 減らしたい 3 今のままでよい
→	億 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	→	1 増えた 2 減った 3 変わらない	→	1 増やしたい 2 減らしたい 3 今のままでよい
→	億 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	→	1 増えた 2 減った 3 変わらない	→	1 増やしたい 2 減らしたい 3 今のままでよい
→	億 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	→	1 増えた 2 減った 3 変わらない	→	1 増やしたい 2 減らしたい 3 今のままでよい
→	億 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	→	1 増えた 2 減った 3 変わらない	→	1 増やしたい 2 減らしたい 3 今のままでよい
→	億 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	→	1 増えた 2 減った 3 変わらない	→	1 増やしたい 2 減らしたい 3 今のままでよい
→	億 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	▶ 次頁の問 21 へ			
→	億 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	→	1 増えた 2 減った 3 変わらない	→	1 増やしたい 2 減らしたい 3 今のままでよい

ここでは、生命保険、個人年金をお持ちの世帯におたずねします。両方ともお持ちでない場合には、問 22 へお進みください。

問 21 あなたの世帯で加入されている生命保険と個人年金について、死亡保障金額と年金の年間受取（予定）金額をお答えください。世帯員全員分、世帯主分に分けてお答えください。

個人年金とは、民間の生命保険会社や郵便局などで取り扱う任意加入の年金のことです。公的年金は含みません。 **（ に金額を数字でご記入ください）**

	全員の合計	うち世帯主の分
生命保険の死亡保障金額	<input type="text"/> 億 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 億 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円
個人年金の年間受取金額 (予定を含む)	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円

ここでは、あなたの世帯の借り入れの状況について、すべての世帯におたずねします。

問22 あなたの世帯では、現在表に示したそれぞれの目的または理由の借入金がありますか。また、それぞれの目的または理由で、今後3年間に借り入れの予定があるかどうかお答えください。借入金には、親戚など金融機関以外からの借り入れも含めて考えてください。

(各目的別の現在の借入金の有無、および、今後3年間の予定について、それぞれ1、2のいずれか一つに をつけてください。)

	目的または理由	現在の借り入れの有無	今後3年間の予定
a	マイホームまたは土地の取得、増改築などのため	1 現在借り入れがある 2 現在借り入れがない	1 借り入れをする 2 借り入れをしない
b	耐久消費財（自動車、家具、家電など）の購入資金のため	1 現在借り入れがある 2 現在借り入れがない	1 借り入れをする 2 借り入れをしない
c	子供の教育費のため	1 現在借り入れがある 2 現在借り入れがない	1 借り入れをする 2 借り入れをしない
d	結婚資金（子供の結婚資金を含む）として	1 現在借り入れがある 2 現在借り入れがない	1 借り入れをする 2 借り入れをしない
e	旅行やスポーツなどのレジャーのため	1 現在借り入れがある 2 現在借り入れがない	1 借り入れをする 2 借り入れをしない
f	病気、災害などのため	1 現在借り入れがある 2 現在借り入れがない	1 借り入れをする 2 借り入れをしない
g	生活費のため	1 現在借り入れがある 2 現在借り入れがない	1 借り入れをする 2 借り入れをしない
h	その他	1 現在借り入れがある 2 現在借り入れがない	1 借り入れをする 2 借り入れをしない

問22で、「1 現在借り入れがある」が1つ以上あった世帯におたずねします。

問23 問22で「現在借り入れがある」とした借入金の合計残高はいくらかお答えください。

(に金額を数字でご記入ください)

現在の残高は 億 万円

ここでは、老後の生活に対する考え方などについて、すべての世帯におたずねします。

問 24 あなたの世帯では、世帯主の方は公的年金をすでに受け取っていらっしゃいますか。

(は1つ)

なお、本調査でいう「世帯主」とは、世帯員のうち、家計費に充てるための収入を最も多く得ている方をいいます。住民票等への登録と必ずしも合致しません。例えば、夫が単身赴任で妻が専業主婦の場合は、妻が「世帯主」で収入は夫からの仕送りであるとみなします。

1 まだ公的年金を受け取っていない	2 すでに公的年金を受け取っている
-------------------	-------------------

次頁の問 28 へ

問 25 あなたの世帯では、老後の生活費として、1か月にどのくらいの金額が必要だとお考えになりますか。

月額 約 万円

生活費には次のものを含みます。

食費、光熱費、住居費（住宅購入費や住宅改修費を除く）、被服費、耐久消費財購入費、交通・通信費、保健・医療費、教養娯楽・交際費

問 26 あなたの世帯では、老後の生活費を何によってまかなうおつもりですか。あなたがお考えのものすべてに をおつけください。また、その中から最も重要とお考えの収入はどれですか。
(該当するすべてに をつけ、その中で最も重要なものの番号を に数字でご記入ください。)

1 給与収入	5 個人年金・企業年金	9 満期保険金
2 事業収入	6 子供、親戚などからの援助（仕送り）	10 土地・家屋などの不動産売却収入
3 家賃・利子など資産の収入	7 貯蓄の取り崩し	11 その他（ ）
4 公的年金	8 退職一時金	

をつけたものの中で最も重要と考えるのは、 番。

問 27 あなたは、公的年金で老後の生活費の何割程度をまかなえるとお考えでしょうか。全部まかなえると思う方は「10」割とお答えください。なお、公的年金が生活費を上回るとお考えの場合は「10」以上の数字をご記入ください。（例えば、1か月の公的年金額が24万円で生活費が20万円の場合は、24/20となるので、「12」割程度と に数字をご記入ください。）

公的年金で生活費の 割程度をまかなえると思う。

次頁の問 30 へ

世帯主の方がすでに公的年金を受け取っている世帯におたずねします。

問28 あなたの世帯では生活費をどのような収入でまかなっていますか。また、その中で最も重要な収入は何ですか。（該当するすべてに **をつけ、その中で最も重要なものの番号を に数字でご記入ください。**）

1 給与収入	5 個人年金・企業年金	9 満期保険金
2 事業収入	6 子供、親戚などからの援助（仕送り）	10 土地・家屋などの不動産売却収入
3 家賃・利子など資産の収入	7 貯蓄の取り崩し	11 その他（ ）
4 公的年金	8 退職一時金	

をつけたものの中で最も重要なものは、 番。

問29 あなたは、公的年金で現在の生活費のどの程度の割合をまかなっていますか。全部まかなえている場合は「10」割とお答えください。また、公的年金が生活費を上回っている場合は「10」以上の数字をご記入ください。（例えば、1か月の公的年金の受領額が24万円で生活費が20万円の場合は、24/20となるので、「12」割程度と に数字をご記入ください。）

公的年金で生活費の 割程度をまかなっている。

すべての世帯におたずねします。

問 30 世帯主の方と配偶者の方が加入されている公的年金の種類をそれぞれ1つお知らせください。現在、すでに公的年金を受給している方で複数の年金を受給している場合は、主なものを1つ選んでください。（ **はそれぞれ1つ**）

世帯主の方	配偶者の方
1 厚生年金	1 厚生年金
2 共済年金	2 共済年金
3 国民年金	3 国民年金
4 恩給	4 恩給
5 加入していない	5 加入していない

問35 あなたの世帯では、将来、世帯主や配偶者のご両親などから不動産や金融資産などの遺産相続を受けることがありますか。(〇はいくつでも)

1 自分(世帯主)の親からある	4 ないと思う
2 配偶者の親からある	5 わからない
3 その他の親族などからある	

問 下
37 記
へ の

問36 相続を受けるとされる遺産はどのような種類ですか。(はいくつでも)

世帯主の方	配偶者の方
1 居住用の不動産(土地・建物)	1 居住用の不動産(土地・建物)
2 その他の不動産(土地・建物)	2 その他の不動産(土地・建物)
3 金融資産	3 金融資産
4 その他	4 その他

問37 あなたの世帯には、別世帯のお子さんがいらっしゃいますか。ここで、別世帯の子供とは、別居して生計が別の子供、または、同居であっても生計が別の子供を意味します。

(は1つ)

1 別世帯の子供がいる
2 子供はいるが、別世帯の子供は1人もいない
3 子供はいない

次頁の問40へ

問 下
39 記
へ の

問38 別世帯のお子さんの同居・別居の状況についてお答えください。2人以上のお子さんがある場合には最も近くに住んでいるお子さんについてお答えください。(は1つ)

1 一緒に住んでいる(生計は別)	4 片道1時間未満のところに住んでいる
2 同じ敷地内に住んでいる	5 片道1時間以上のところに住んでいる
3 近くに住んでいる(徒歩で5分程度)	

次頁の問40へ

問39 あなたの世帯では資産をどのようにしたいとお考えですか。(は1つ)

1 資産は寄付する	2 資産は親族に残す	3 資産は使い切る
-----------	------------	-----------

18頁の問45へ

お子さんのいらっしゃる方におたずねします。

問40 あなたの世帯では、世帯主及び配偶者の方は自分たちの子供に遺産を残したいとお考えですか。（は1つ）

1 子供に遺産を残したい	2 子供に遺産は残さない
--------------	--------------

問 下
44 記
へ の

問41 子供に遺産を残す場合の考え方についてお答えください。（は1つ）

1 均等に分ける
2 同居して介護など面倒をみてくれた子供に多く、もしくは全部残す
3 別居でも介護など面倒をみてくれた子供に多く、もしくは全部残す
4 事業などを継いだ子供に多く、もしくは全部残す
5 事業などを継がなかった子供に多く、もしくは全部残す
6 所得の低い子供に多く、もしくは全部残す
7 自分の面倒を見てくれなくても、長男・長女に多く、もしくは全部残す
8 子供が1人なのでその子供に全部残す
9 その他

問42 あなたの世帯では、どのような資産を子供に残したいとお考えですか。（はいくつでも）

1 相続・贈与を受けた不動産	4 みずから取得した金融資産
2 みずから取得した不動産	5 相続・贈与を受けたその他の資産
3 相続・贈与を受けた金融資産	6 みずから取得したその他の資産

問43 子供に残したいとお考えの資産は、合計でどのくらいの金額ですか。

（内に数字をご記入ください）

<input type="text"/>	<input type="text"/>	億	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	万円
----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----

18頁の問45へ

問44 子供に遺産は残さないとお考えになる理由をお教えてください。（は1つ）

1 自分の資産は生きているうちに自分で使いたいから
2 遺産は子供以外の親族に残したいから
3 遺産は寄付などに使用したいから
4 遺産を残すだけの余裕はないと思うから

以降も質問が続きますので、
次頁にお進みください。

最後にあなたの世帯の構成などについて、すべての世帯におたずねします。

問 45 記入例

あなたの世帯の構成（一緒に住んでいる方）についてお答えください。

（この記入例のように、世帯員の構成、総数について次頁の各欄に数字、を記入してください。世帯員の人数が6人を超える場合には、年齢の高い方から順に最大6人まで記入してください）

(1) 世帯の 構成員 (世帯主との続柄)	(2) 年齢 (歳)		(3) 性別		(4) 就業の有無		勤め先又は自営事業（世帯主のみ）							
							(5) 勤務状況 (雇用されている人のみ)		(6) 職業の種類	(7)企業規模(官公庁を除く)				
										常勤	パート	1 ～ 4 人	5 ～ 29 人	30 ～ 499 人
世帯主本人	4	5		2		2		2	1			1		3
配偶者	4	3	1			2	1							
2	7	2		2		1								
2	7	1	1			1								
1	1	6	1			1								
			1	2		1	2							

- 職種を番号で記入してください
- 1 民間企業に勤務
 - 2 官公庁に勤務
 - 3 その他団体に勤務
 - 4 農林漁業に従事
 - 5 個人経営・自営業
 - 6 その他

世帯員（世帯主を含む）の総数は 人

世帯員の人数を記入してください

- 世帯主との続柄を番号で記入してください
- 1 子 3 子の配偶者 5 孫 7 兄弟姉妹
 - 2 父母 4 配偶者の父母 6 祖父母 8 その他

問 45 あなたの世帯の構成（一緒に住んでいる方）についてお答えください。

（左の頁にある記入例のように、世帯員の構成、総数について下表の各欄に数字、を記入してください。世帯員の人数が6人を超える場合には、年齢の高い方から順に最大6人まで記入してください。）

(1) 世帯の構成員 (世帯主との続柄)	(2) 年齢(歳)	(3) 性別		(4) 就業の有無		勤め先又は自営事業（世帯主のみ）								
						(5) 勤務状況 (雇用されている人のみ)		(6) 職業の種類	(7) 企業規模(官公庁を除く)					
		男	女	就 業	非 就 業	常 勤	パ ー ト		(6) 職業の種類	1	5	30	500	1000
								人		人	人	人	人以上	
世帯主本人		1	2	1	2	1	2							
配偶者		1	2	1	2	1	2							
		1	2	1	2									
		1	2	1	2									
		1	2	1	2									
		1	2	1	2									
世帯員（世帯主を含む）の総数は						人		世帯員の人数を記入してください						

職種を番号で記入してください

1 民間企業に勤務
2 官公庁に勤務
3 その他団体に勤務
4 農林漁業に従事
5 個人経営・自営業
6 その他

世帯主との続柄を番号で記入してください

1 子 3 子の配偶者 5 孫 7 兄弟姉妹
2 父母 4 配偶者の父母 6 祖父母 8 その他

問 46 あなたの世帯では単身赴任、出稼ぎ、入院などの理由により、3か月以上住居を別にしている方がいらっしゃいますか。（は1つ）

1 い る	2 い ない
↓	→ 次頁の問 47 へ
（はいくつでも）	
1 家計を主に支える人が該当する	2 その他の人が該当する

問 47 あなたの世帯は、現在どのような住居にお住まいですかお答えください。持ち家の方はおよその面積をお知らせください。(は1つ)

1 持ち家(一戸建て、土地は自己所有)	敷地面積は <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> m ²
2 持ち家(一戸建て、借地)	
3 持ち家(マンション)	床面積は <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> m ²
4 民間の賃貸住宅(一戸建て)	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> マンションの床面積は専有部分のみをご記入ください。また、坪単位は3.3をかけて平方メートル(m²)に換算(小数点以下は四捨五入)してください。 </div>
5 民間の賃貸住宅(マンション・アパートなど)	
6 公団・公社など公営の賃貸住宅	
7 社宅・公務員住宅など(借上げを含む)	
8 その他	

問48 あなたの世帯では、ご自宅の取得(建てかえ、買いかえなどを含む)等のご予定はありますか。予定がある場合には、取得の仕方についてもお答えください。(はそれぞれ1つ)

1 1年以内に予定している	1 新規購入 2 建てかえ 3 買いかえ 4 贈与 5 その他()
2 5年以内に予定している	
3 時期ははっきりしないが予定している	
4 今のところ予定はない	
5 将来とも取得しない予定でいる	

問 49 昨年1年間のあなたの世帯のおおよその収入(税込み)を種類別にお答えください。各収入には生計を共にする方全員の収入も合算してください。(に数字をご記入ください。)

収入の種類	昨年1年間の税込み金額
給与収入	<input type="text"/> 億 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円
事業収入	<input type="text"/> 億 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円
家賃、利子など資産の収入	<input type="text"/> 億 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円
公的年金	<input type="text"/> 億 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円
個人年金・企業年金	<input type="text"/> 億 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円
仕送り金	<input type="text"/> 億 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円
その他	<input type="text"/> 億 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円
合計	<input type="text"/> 億 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円

問 50 あなたの世帯の 1 か月の生活費はどの位ですか。（ 内に数字をご記入ください。）

月額 万円

生活費には次のものを含みます。

食費、光熱費、住居費（住宅購入費や住宅改修費を除く）、被服費、耐久消費財購入費、交通・通信費、保健・医療費、教養娯楽・交際費

本調査のご回答をいただく項目は以上で終わりです。

お忙しいところご協力いただき、誠にありがとうございました。